

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	南町田発達支援室マナココ			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~			2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ~			2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月1日 ~			2025年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、児童発達支援サービス・放課後等デイサービスを併設しており、利用児も重複している方が多いため、訪問結果を共有しやすい。	個別支援計画の策定会議に、個別療育を行っている指導員にも参加してもらう	訪問支援員が、個別療育の観察をする機会を増やす
2	訪問先が実践しやすい助言ができる	移行支援として成立するように、所属先の環境の中で工夫できることを提案する。	訪問先を増やし、良い取り組みをしている事例については抽象化した上で他施設にも共有し、地域全体として対応の好循環が生まれるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル等が独自に作成できていない。	事業を始めて日が浅く、また、多くのことを事業所内の他事業に準じて運用している現状がある。	安全管理等は訪問先に準じるが、訪問特有の状況（訪問先で地震が発生した等）について行動マニュアルを策定していく
2	従業員の質の向上ための研修機会が十分に用意されていない。	就業時間中に研修時間を設定できていない。	法人が機会を用意してくれているオンライン研修を活用できるようにするとともに、地域の研修情報を従業員同士で共有できるようにしていく
3	家族支援・きょうだい支援をまとまって行えていない	家族との関わりが、日頃のお声がけと訪問FBに限られている現状がある	子どもの学年に応じて家族が抱えやすい問題のポイントを整理し、共有する機会を模索していく